かわさきＴＭＯ通信

＜毎度おじゃまします・かわさきＴＭＯタウンマネージャーです＞

２０１７年１月号　No.66

発行元：川崎商工会議所
発行責任者：会長　猪熊俊夫
編集責任者：タウンマネージャー　笹原克
発行日：２０１７年１月２５日
発行部数：1,000部
◆連絡先
ＴＥＬ：０４４－２１１－４１１４
ＦＡＸ：０４４－２１１－４１１８
Ｅmail：
sasahara@kawasaki-cci.or.jp
「まちづくり情報交換誌」を目指しています。タウンマネージャーにお気軽に情報をお寄せ下さい。
ご意見・ご感想・ご要望大歓迎です！

●　地域経済分析システム（ＲＥＳＡＳ）について

●ＲＥＳＡＳとは？

さて、皆様は、地域経済分析システム（通称：ＲＥＳＡＳ）の存在をご存知でしょうか。

ＲＥＳＡＳとは、産業構造や人口動態、人の流れなどに関する官民のビッグデータを集約し、可視化するシステムのことです。経済産業省では、自治体による地方創生の取組を情報面から支援するため、内閣官房（まち・ひと・しごと創生本部事務局）と連携し、昨年４月２１日より、「地域経済分析システム（ＲＥＳＡＳ：リーサス）」を提供しています。本システムの提供から１年経過し、１７０６自治体では、データに基づく政策・施策の検討・立案が開始されております。今後、既存の地域間産業連関表と併せて、国および地方自治体における地域分析・政策決定の過程において不可欠なツールとしてさらなる展開が期待されます。現段階においては、主に自治体職員による利活用を想定していますが、今後は、各事業者が経営サポートのツールとして、主に商圏分析や客層分析などにおいて、存分に活かすことができるのではないかと考えられます。

具体的にどのような場面で事業者の方がＲＥＳＡＳを活用ができるのかについて考えてみたいと思います。まずＲＥＳＡＳが経営に役立つ機能の一つが事業所の集積状況や自地域における日常的な消費傾向の把握に役立てることができる点です。なかでも、代表的なツールに「ＦＲＯＭ－ＴＯ（消費動向）」の存在があります。これは、都道府県別に消費別シェアの推移をグラフによって表示され、地域ブランドの浸透状況の判明に役立たせることが可能であり、ＰＯＳデータを反映させているのが最大の特長です。これまで、我々一般市民がＰＯＳデータを入手するためには、通常、有料購入するほか手段がありませんでした。しかし、このフリーツールの存在を通じて、ＰＯＳデータの入手が可能となりました。これは、極めて画期的かつ革新的な機能といえます。残念ながら、まだまだ一般に浸透しているとは言い難いこのＲＥＳＡＳ。是非とも、多くの企業・市民への周知が期待されます。経済産業省では、今後も機能の追加・改善を実施していくそうです。今後の課題として、は事業者や地域住民が身近なツールとして容易に使いこなせることを目指し、今よりもさらに重ねて機能の改善・追加が求められます。

地域経済分析システム（ＲＥＳＡＳ）ＵＲＬ：https://resas.go.jp/

【ＲＥＳＡＳ　トップページ】

（タウンマネージャー　笹原克）